

2026.5.14 (木)
第 42 回例会
(通算3851回)

2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛
副 会 長 池田 一己
幹 事 横田 英喜
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度
国際ロータリーテーマ

『よいことのために手を取りあおう』
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度
RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ
第 2500 地区ガバナー
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム 会員卓話「人生のチャレンジ」(プログラム委員会)

次週例会 ライラセミナー報告 / グローバル補助金事業報告 (青少年奉仕委員会)

■ロータリーソング：四つのテスト ■ソングリーダー：東堂 光春君

■会員数 104 名

■ビジター

■ゲスト

会長の時間 荒井 剛会長



皆さんこんにちは。ここ最近、すごく天気がいいなと思っております。今日も 5 時に起きて、近くの森林公園に、毎週 1 回、バード

ウォッチング行っているのです。いつも春採公園に行っていたのが、今日は森林公園に行ったところ、最初に出迎えてくれたのがクマガラでした。バードウォッチングをやられている方は、「えっ、すごい鳥に会えたね」と思っただけかと思うのですが、興味ない方は多分わからないかと思ひます。そんな朝を今日迎えました。

先週末の土曜日、5 月 9 日に 2500 地区の事業である「Lady Go」という事業がありました。女性が集まる集いで、これが行われたのが 3 回目と思うのですが、釧路行われたのは初めてです。今年は「男性会員も」ということで、当クラブから横田幹事、石井さん、小野寺さんが参加していただきました。本当にありがとうございます。私は所用で東京に行っていたので参加できなかったのですが、当クラブから 3 名も参加していただけたことは本当にありがたいと思っております。

その翌日の 5 月 10 日は、マスターズゴルフ大会がありました。昨年度、当会員の小野寺さんが優勝していましたので、当クラブがホストとして、今回のマスター

ズゴルフ大会を行いました。そのいろいろな企画や段取りをしていただいた市橋さん、本当にありがとうございます。

今年は残念ながら小野寺会員は連覇ならず、釧路西ロータリークラブの菊地さんが優勝されましたので来年は釧路西さんに頑張ってくださいことになります。本日のメインは、尾越、舟木両パスト会長による会員卓話となっております。ちょっと普段は聞けないお話が聞けるものと思っております。この 2 人は、私が入会した当初からすごいお世話になっておりました。私は 2011 年 3 月 10 日に入会したのですが、2010-2011 年度の会長だったのが尾越さんでした。その時の幹事が舟木さんでした。その後、舟木さんが会長をされた時に、私が幹事を務めさせていただきました。この 10 年の間、タイに一緒に行かせていただいたり、ブータンに一緒に行かせていただいたり、ということで国際奉仕だけではなく、釧路クラブの事業、釧路クラブの関わり方ということもいろいろ教えていただきました。

また、当時、尾越会長でしたけども私が入会して、2 カ月後、ちょうど東日本大震災が起きた 2 カ月後の 5 月に弁護士会の関係で、岩手県陸前高田市に無料法律相談会というのをに行いに私が行ったのです。いろんな相談を受けるのですが、来るたび来るたび、その相談が「うちは 9 人流された」「うちの 7 人流された」ということが、挨拶文のようなところからスタートしたというような法律相談がありました。そこに私が行っているいろいろやったのですが、それが新聞に載った

かどうか忘れましたが、尾越会長がすぐに「入会して間もない荒井会員が弁護士として無料法律相談に行っています」と、確か会長の時間ので話をしてくれていたのです。そういうことを言っていたことも嬉しかったですし、私も当クラブに所属する会員がいいことを行ったということがあれば、それを紹介したいと当時から思っていました。

尾越、舟木、両パスト会長のお話を皆さんぜひ、今日はじっくり聞いていただきたいと思います。

最後に、私は今日の晩から、グローバル補助金の贈呈式の関係でタイに行っています。横田幹事、東堂国際奉仕委員会委員長、吉田英一さん、舟木さん、土橋さんと一緒に行っていただきます。

去年から制度が変わりまして、タイに入るためには、デジタル入国データを事前に申請しないとイケませんので、必ず申請しておいてくださいね、私が昨日申請して1万4000円を払ってしまったのですが、これ、詐欺ですから。まだやってない方はくれぐれもお気をつけください。

私はわからないで、どんどん入って1万4000円払って、あれっ、と思って横田さんに「取るんだよ」と言ったら、「これ、無料だよ」と言われましたので調べたら、「完全に詐欺です」と言われました。完全に騙されて、もうニコニコ献金を私は1万4000円をしまりました。

改めて申請をして、ちゃんとしたビザを取ってきましたので、今晚から先行して入る組はタイに行って参ります。来週、このグローバル補助金の事業の結果報告を横田幹事から15分ほどいただいて報告させていただきます。

以上で今日の会長挨拶を終わらせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告 横田 英喜幹事

幹事報告をさせていただきます。一昨日、野遊会のメールが流れていたと思います。6月6日土曜日ですが、今年度の野遊会は岸壁炉端で開催したいと思います。メンバーの方は4000円が掛かりますが、ご家族の方は無料になっておりますのでぜひご家族で参加していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

もうひとつ、理事会で決まったことです。このクラブにとって会員拡大は重要なことです。と言いながら「クラブの中身を知らない、どんなことをやっているのかを見てみたい」という要望を聞かれた、という話を聞きました。オブザーバー参加ではないですけども、クラブのメンバーでない方がこのクラブの中も見たいという方がおりましたら、幹事に言っていただければ積極的に受け入れたらいいのではないかと、理事会でそのように決まりました。もし、そういう方がおりましたら

ら幹事まで報告をお願いいたします。

■本日のプログラム■ 会員卓話「人生のチャレンジ」

プログラム委員会 藤井 敬亮委員長

はい、皆さんこんにちははプログラムの藤井です。本日のプログラムは荒井会長のたつての希望ということで、アナウンスの方は先ほどのお話で、みな様がよくわかれたと思います。



私の方からは、尾越、舟木、両パスト会長には「人生のチャレンジ」として、その人生のベテランの話をお聞きしたいという荒井会長の意向だったので、そこを、ものすごく漠然とお伝えしてご迷惑をおかけしたかもしれせんけれども、快く受けていただきました。これよりお話いただきたいと思います。それでは、尾越パスト会長、よろしくお願いいたします。

会員卓話

尾越 弘典君



皆さん、こんにちは。こういう場に立つのは本当に久しぶりで、テーマも「人生のチャレンジ」ということです。何を話しようかなと、

そうですね2、3週間ぐらい前から考えて、私は、「私の人生、4つのチャレンジ」ということでお話をいたします。

皆さんご存知のとおり私は、昭和26年（1951年）の6月12日生まれです。私は5人兄弟姉妹の三男坊として生まれました。今年、来月の12日で75歳になります。若く見えるでしょう。

私は現在、釧路で司法書士、土地家屋調査士という仕事をしております。私の家は祖父の代から続いていて昨年で100年の節目を迎えた家業を営んでおります。100年もの間、地域の力、皆さんの財産を預けたり、信頼をいただいたりして仕事をやってきたという家柄で、私が3代目で、私の次男坊が4代目として今、働いております。

まず第1のチャレンジです。私の昔のことを知っている方はここに何人かいらっしゃると思うのですが、小学校の高学年ぐらいからちょっと悪くなりまして、教室にいるよりは、廊下、職員室、相談室にいること

がほとんどでした。勉強よりも仲間とツルんで、外で遊び歩いているのが大好きな男でした。大人たちの言うことには、ことごとく反発していた時代で、ひどいやんちゃな時代を過ごしたと記憶しております。

その結果、高校を受験する場合に、私は内申書を見るも無残な最低評価でありました。運よく、私は釧路市立高校に滑り込みで入ることができましたけれども、その中学時代の仲間5人のうち、私1人が高校に入っており、残りの3人は中学浪人、1人はどこの高校にも入学することができないぐらい素行が悪かったのです。高校に入ったときも、すぐ担任の先生に呼ばれて、「新入生の中で君が一番、内申点が悪いのだから、くれぐれも行動には気をつけるように」と言われましたけれども、すぐに同じクラスの5人の仲間ができて、波乱万丈の楽しい3年間を過ごして、無事に卒業することができました。これが私の第1のチャレンジです。

そのときの悪ガキ仲間は、今は1人だけは私と連絡が取れるのですが、他のメンバーはもうどこに行ったかわからないような状態です。

何とか高校を卒業して、横浜の大学、工学部土木科に入学したのです。当時、1970年ころは学園紛争の真っ只中で、学校の授業はほとんど休みが多かったのです。それで、ほとんど遊びほうけていました。でも、大学4年で無事に卒業することができました。東京に日本国土開発という会社があったのですが、その名古屋支店に勤務することができて、地下鉄の工事と高速道路の工事をやっておりました。

その当時、うちの父が軽い脳梗塞になって倒れました。親の近くにいた方がいいのではないかなと思ひまして、地元の測量会社にツテがありましたので、その測量会社に入社することができました。

次は第2のチャレンジです。その第2のチャレンジは、結婚ですね。私、今年の4月8日が結婚記念日でちょうど50年の金婚式です。当時の私は若かったせいもあって、将来のことも何も考えないで、三男坊ですから家のことも何も考えないで、ただただ勢いで結婚を決めました。それで、相手の親のところに行きました。そうしたら、相手の父親から投げられた言葉が「君は将来、どう考えているのだ」と。ウーンと思ひまして、その時はなかなか返答することはできなかったのです。今も女房とは50年間、連れ添って幸せに暮らしていますので、父親はもう亡くなりましたけれども、空の上、天国から見守ってくれているだろうと思ひます。

第3のチャレンジです。これはですね、父親から言われて、私もちょっと考えることがありまして、今の司法書士、土地家屋調査士を目指してみようか思ひました。測量会社に勤務しながら、独学で測量士と土地家屋調査士の資格を取りました。その後、家業を継がなきゃいけないとなりまして、司法書士の勉強をし

なきゃいけなかったのですが、私は理系の方だったので、法律のことは何もわからないので、妻と長男坊を残して、また東京の専門学校に行きました。2度目の挑戦で、昭和58年の2月1日から願をかけて、このヒゲを伸ばし始めました。ちょうど昭和58年の試験に合格することができました。初心を忘れないために、今まで一度もヒゲを剃ったことはありません。私が合格した次の年、32歳の時ですけれども、釧路ロータリークラブの大先輩でありました今は亡き両角克治さんと山下書店の山下義則さんのスポンサーで入会することができました。あっという間に42年が経ちました。在籍年数だけは皆さんには負けませんが、自分がロータリアンとして胸を張っていけるかなと考えたときには、ほとんど疑問です。自慢は言えません。そのようなロータリアンでした。

第4のチャレンジですね。私は皆さんが知っているとおり、結構健康オタクなところがありまして、健康で長生きをするという最中にいます。私は、40歳のときに大腸にポリープができて、その時に今は亡き山口さんという方がメンバーにいたのですが、その方から言われて、知っている方もいるでしょうが、ギョウジャンニクを毎朝食べています。今日も朝、2本食べてきました。そのポリープの話をするともたまた15分ぐらい必要になりますので、それを話すのは違う機会にしたいと思ひますけれども。

私が第4のチャレンジということで、健康で長生きをしようと、私いつも家の中でも言っていますので、次男坊の息子に「親父、親父は死ぬ前の日まで働いてくれないと困るよ」と言われていますので、私は当分の間、仕事を辞めるつもりはありません。体の健康が続く限りは、ずっと仕事をやろうと思ひております。私は50年間ずっと、女房の手作り弁当で来ています。1週間の月曜日から金曜日までのうち、木曜日はロータリーの例会がありますので、そのときだけは弁当はありません。それ以外はほとんどお弁当を作っていないので、まあ女房には全然頭が上がらないというようなところですね。

今、ダラダラと話しましたが、本当の私の人生というのは遠回りの連続ですが、無駄になったことはひとつもなかったと思ひております。私はこれからも好奇心を忘れないで、新しい時代を楽しみながら、妻と一緒に仲良く暮らしていきたいと思ひております。

私の若い時の悪い話はまだまだあるのですが、その話は別な機会にお酒を飲みながらお話ししたいと思います。

本当にどうも今日はご清聴ありがとうございます。

舟木 博君

皆さん、こんにちは。久しぶりに皆さんの顔を見ながら、今日は原稿なしでやりたいと思います。人前で話すのが一番苦手で、



石田さんにも言われたのですが、「お前、いつになったら話がうまくなれるのだ」と怒られたこともありますが、今日はそんなわけで下手な話ですが、聞いていただけたら幸いです。

尾越君の今の話は、小さい時の話でしたので、悪ガキだったという話だったら負けなかなと思いますので、思い出して話します。

今、住んでいる所は、私がここで生まれて育って75年ですけど、大体生き字引みたいなものです。トンケシの浜から、昔の浜釧路からずっと海岸だった時、全部覚えています。たまにお年寄りが戻って来るのですが、うちの通りはご存知ないと思うのです。国道38号線の一本裏通りなのです。38号線で、昔は38商店街ということで30軒ぐらいの商店あったのです。今はもうなくなって2軒ぐらいあるかな。蕎麦屋さんとセブンぐらいかな。うちも入っていたのですが。その昔は、道路の一本裏側にトンケシ中通り商店街がありまして、昭和の30年ぐらいまでに20軒ぐらいの商店があったのです。しかも、そこには古い建物がいっぱいあって、蔵が建っていました。私が見ている限り4軒ぐらいの蔵がありました。今はもう跡形もなく全部消えてしまっています。札幌軟石を使った素晴らしい倉庫もありました。今、残っているのが例の13番倉庫ぐらいです。あの裏にはトンケシ御殿といって原田康子ゆかりの建物がありました。それは、いい建物でしたね。ちょうど嵐が丘に出てくるような、らせん階段のある板張りの素晴らしい建物でした。ホクレンが昭和40年ころまで使っていました。

そこはフランス人が設計した事務所で、本当に素晴らしい建物もありました。ことごとくなくなっていて本当に残念です。うちの店の前が今はマンションになっていますけど、一丁角全てに1人で住んでいるようなお屋敷がありました。そこのレンガ倉庫というのは、釧路の駅を壊したときのレンガを使っていて、多分、そのレンガを持っていたら今1個何百円かで売れるようなものです。もう全部ショベルで壊してしまって、釧路の文化遺産ということでは本当に残念でならないです。

まだうちの周りには100年前とか150年前から住んでいる人がたくさんおまして、たまたま町内会長をやらされているものですから、戦前からの話はよく聞いておりますので、本を書こうと思ったら1冊書け

るぐらいの量はあると思います。

うちの向かいの辺りは空襲で爆弾が落ちて、そこで死んだり、町内から不発弾が出たりして、結構古いものが負の遺産としてたくさんありますね。トンケシの話が長くなってすいません。

それでガキのころ。本当に環境の悪い所でした。沖仲仕と言いましたが、今、沖仲仕はないですけど、港湾労働者という意味です。それから、「馬車追い」はご存知ない人いると思いますが、今の運送業です。それから、漁師・小漁師がたくさんいました。どっちかというトンケシという名前で行われていて、すごく柄の悪い地域でした。

僕は尾越君と同じように26年生まれなので75歳ですけど、その当時の子供は町内に何十人もおりました。その中で、ガキ大将というのがいました。大体は順番に上がって行って小学校6年生ぐらいで終わって、中学生になったらもうガキ大将は卒業なのです。ガキ大将の下には30・40人ぐらいの子分がいます。今でいうと、とんでもないことをやって遊んでいました。あの時代は、寿小学校の時でも大体7クラスありました。旭小学と合わせて北中に行くのですが14クラスで、大体1学年に700人以上いて、3学年だと2100人は超えていたと思います。

北中に入ったら、まず第1の挑戦は「ケンカで一番になろう」ですね。それで3カ月間ぐらいは毎日猿山のボス争いをやりまして、都合20回ぐらい喧嘩した記憶がありますよ。その中で、半年経つと猿山のボス争いも終わって、順位が決まると、すごく楽ですね。その中で何とかベスト3に入ろうとして頑張りました。そのときの同期に亡くなった浅野がいて、あとは五明正吉です。正吉は2年3年の時一緒でしたけど、馬鹿みたいなことをやっていました。

さっき尾越君が言っていたように、勉強はほとんどやったことがなかったのです。実は高校も入る予定でなかったのですが、親父に「お前は馬鹿だから中学卒業したら自転車とリヤカー引いて、冬はソリ引いて配達だ」と言われて焦りました。みんながカバン持って歩いている時に、なんで俺だけがリヤカーを引いてみんなの前に行かないかならないんだ、と思います。それで生まれて初めて3カ月間勉強したら、何とか高校に入りました。勉強の仕方がわからなかったのですよ。そういうときはやっぱり友達ですね。たまたま私は星が好きで天体観測で、小さな望遠鏡でいつも星を見ていたのです。その時に渡辺君という学年で一番頭のいいやつが勉強を教えてくれて、何とか高校に入れたのです。それがすごい運がいいのです。

私は自分で言うのもなんですけど、何回も死にそうになっているのです。その都度、切り抜けているのです。そういう意味では本当に不思議な運を持ち合わせていると思っています。

高校に入ったのですが、高校に入るとき一緒に遊んでいた連中は全員が高校を落ちているのです。1人だけ高校に入ったのはいいけど、1週間目ぐらいで停学になりました。「高校に入ったらタバコが吸える」と嘘をつくやつがいました。吸ったタバコを教室の机に置いていたのです。私が吸い出したら、3・4人吸うやつがいて、一緒に吸っていたのです。多分、女の子がチクったのか、先生が来て、「お前らの中でタバコ吸っているぞ。目つぶって手を挙げろ」と言ったから、しょうがないから手を挙げたのです。周りを見たら誰もいないのです。そうしたら先生に「お前1人でこんなに吸ったのか」と言われて、「はい」と言って、停学の反省日記を書かされました。

親には言えなかったのです。昔は親に言わなかったのですかね。だから、「学校に行く」と言って遊んでいましたけど。そうやって一緒に遊んだやつは4・5人いたのですが、やつらは全員退学なのです。私だけ、卒業延期だったのですが、どういうわけか卒業できたのです。やっぱり運がいいのですよ。風邪をひいて学校休んでいたのです。その時にいつものメンバーが馬鹿なことやってみたみたいです。風邪で休んでいなかったら絶対に行っていたと思うのです。そのお陰で高校は卒業できました。

次は大学のときのこと。たまたま高校3年生の夏休みで、砂湯にキャンプに行っていた時に名古屋の大学の学生だったと思うのですが、「大学って面白いんだよ。大学はね、好きな科目を自分で選んで自分で勉強できるんだよ。いやいや勉強するのではなくて、好きなものを勉強できる」と言われて、「そうなんですか」と。じゃ、行ってみようかなと半年ほど真面目に勉強して、何とか滑り込むことができたのです。それが、ろくでもない大学でして、皆さんご存知のとんでもない大学だったのですけど。

それが次の挑戦みたいなものですね。そこで寮生活したのですが、それが軍隊よりもっとひどかったです。朝5時に起こされて、朝稽古が終わってから点呼があるのです。それが朝晩あるのです。自衛隊と同じように並んで「1・2・3・4」と言って「敬礼」とやるの

です。それを経験しました。ひどい所で、ずいぶん殴られました。皆さん、殴られることを大変だなと思うでしょうけど、実は殴るほうも大変なのですよ。30人ぐらいの1年生がいて、端から殴ってくると手が腫れるのです。だから、殴るのも大変だなと初めて知りました。そして、殴られ方というのもあるのですよ。いかに先輩を喜ばせるか、いかに俺のパンチが効いているかと思わせるのが大事なのです。

馬鹿な奴がいて、頑張ってる踏ん張っていたら、いつまでも殴られているのです。だから、殴られる瞬間に後ろに吹っ飛ぶのがいいのですね。それと、必ず「ううう」と言って倒れるのです。それをやらないと大変な目に合っ。うちの大学の応援団はとんでもない花の応援団みたいな所だったのですけど。そこで馬鹿な奴がいて、応援団の男子のところちょっと穴が開いていたのに靴が挟まっていたのです。殴られたのですが、足が抜けなくて倒れられなかったのです。何十発も殴られたそうです。だから本当、だいたい話ですね。

くだらない話をしている間に時間になってしまったのですね。最後の挑戦についてです。私は共同事業を二つやったのですが。皆さん、いろいろな方が商売されているので、「共同事業はするな」とよく言いますが、全くそのとおりです。もし、そういうのがあるときは自分でやってください。それは、私はずいぶん痛い目に遭っていますので。

最後です。びっしり土橋君と行っているお遍路なのですが、きっかけは女房が亡くなって、その供養という形で始まったのですが、今、それが挑戦ですね。いくつまで歩けるかわかりませんが、今まで大体、約4000キロを歩いたのです。4000キロといったらタイまで行ってしまいますかね、それぐらいの距離を歩いています。5000・10000キロと歩けるかどうかわかりませんが、それが最後の挑戦です。

私は1回死に損なっていますので、怖いことないのです。なにかありましたら相談に乗りますので。

どうもありがとうございます。

本日のニコニコ献金

- 清水 輝彦君 娘のまりえが高校に入りました。皆様、ありがとうございます。
- 荒井 剛君 グローバル補助金事業の贈呈式に出席するためタイに行ってきました。
- 青田 敏治君 ロータリーマスターズ優勝しました。「これだけは避けたい3連覇」運よく、外れてくれました。幹事の皆さん2年連続、ご苦労様でした。
- 村上 祐二君 2回目の断食に行ってきました。今回は6日間で3.5kgダイエット！！
- 横田 英喜君 昨日結婚10周年を迎えました。ありがとうございます。これからも精進致します。

今年度累計 423,420 円